

事例紹介17

和歌山県白浜町における自殺対策の取組

「三段壁」は、千畳敷の南海岸にそそり立つ高さ50mの断崖です。その昔、漁師たちが、通りゆく船や魚の群れを見張った場所「見壇」に由来するといわれる大岩壁は、南北2kmにわたって展開されていて、当町でも有数の観光地です。と同時に、「自殺の名所」としても知られるようになっています。

三段壁での自殺者は、平成18年11人、19年9人、20年21人と急増しています。また、警察により保護された人も平成18年20人、19年29人、20年32人と増加傾向にあります。それに伴い、自死遺族が現場を訪れた際、警察に対して「何か自殺防止の対策はしているのか」と問い合わせがあるケースも増えてきています。

そこで、平成20年12月より県、白浜町、警察による三段壁での自殺対策に関する会議を開催。その後も数回会議を重ねる中で対策を協議した結果、自殺を水際で防止する活動として平成21年2月より週2回（水・木の夕方1時間程度）三段壁周辺のパトロールを開始しました。

パトロール中は、特に1人で三段壁に来られている方に対し積極的に声かけを行っています。服装や表情、言動等で不審な点があり、実際にパトロール中の警察に保護を求めたケースもありました。その場合、精神的な疾患等が疑われる場合は、県の精神保健福祉士が面談を行い、必要に応じて医療につないでいます。保護された方については、白浜町、警察の連携で処遇についての検討を行っています。

また、ハード面としては、景観上環境を整備して行くのが難しい中、三段壁の中でも特に自殺の多い場所付近に柵の設置を実施しました。

〈パトロール活動の様子と柵の設置〉



白浜町民生課福祉係
電話 0739-43-6585（内線229）

7 インターネット上の自殺関連情報対策の推進

インターネット上の自殺関連情報としては、硫化水素など有毒ガスの製造方法を紹介するWebサイトが特に大きな問題となっていた。こうした自殺関連情報への対策とし

て、平成20年12月、電気通信関連団体がプロバイダにおける自主的措置への支援として策定している「違法・有害情報への対応等に関する契約約款モデル条項」（平成18年11月策